

## 化合物命名法 –IUPAC 勧告に準拠– 第2版

### 補遺・正誤表 (2017年7月現在)

本書の出版後, Nomenclature of Organic Chemistry: IUPAC Recommendations and Preferred Names の邦訳「有機化学命名法 IUPAC 2013 勧告および優先 IUPAC 名」日本化学会命名法専門委員会訳著, 東京化学同人(2017)が刊行され, 日本語訳基準が一部変更になりました。それに伴い, 本書Ⅲ章第2部の下記の PIN の日本語名称を変更します。

変更箇所	変更前	変更後
p.96, 1 番上の例	3,7-ジチア...-[1,2]オキサゾラ...	3,7-ジチア...-[1,2]オキサ <del>ゾラ</del> ... <sup>†1</sup>
p.100, Ⅲ2-B2.4, 上から 7 行目	4 <i>H</i> -3,1-ベンゾオキサジン	4 <i>H</i> -3,1-ベンゾオキサ <del>ジン</del> <sup>†1</sup>
p.100, Ⅲ2-B3,1)の 2 行目	1,3-オキサゾール (PIN) , 1,3-チアゾール (PIN)	1,3-オキサ <del>ゾ</del> ール (PIN) <sup>†1</sup> , 1,3-チア <del>ゾ</del> ール (PIN) <sup>†1</sup>
p.109, Ⅲ2-C9.4.2, 3 番目の例	酢酸ジクロロ酢酸 1,4-フェニレン	酢酸= <del>ジ</del> クロロ酢酸=1,4-フェニレン <sup>†2</sup>
p.110, Ⅲ2-C9.6.1 の 1 行目	カルボキサミド	カルボキシ <del>ア</del> ミド <sup>†3</sup>
p.110, Ⅲ2-C9.6.1 の 2 番目の例	チオフエン-2-カルボキサミド	チオフエン-2-カルボキシ <del>ア</del> ミド <sup>†3</sup>
p.111, Ⅲ2-C9.6.1 の最後の行(4 番目の例の直上)	カルボキサミド	カルボキシ <del>ア</del> ミド <sup>†3</sup>
p.116, Ⅲ2-C10.8.3, 化合物名	1 <i>λ</i> <sup>6</sup> ,2-チアジナン-1,1-ジオン(PIN)	1 <i>λ</i> <sup>6</sup> ,2-チア <del>ア</del> ジナン-1,1-ジオン(PIN) <sup>†1</sup>
p.118, Ⅲ2-C11.5 1 番目の例	臭化 <i>N,N</i> -ジメチルエタンアミニウム (PIN)	<i>N,N</i> -ジメチルエタンアミニウム= <del>プロ</del> ミド (PIN) <sup>†4</sup>
p.118, Ⅲ2-C11.5 2 番目の例	ヨウ化 <i>N,N,N</i> -トリメチルメタンアミニウム(PIN)	<i>N,N,N</i> -トリメチルメタンアミニウム= <del>ヨ</del> ー ジド(PIN) <sup>†4</sup>
p.118, Ⅲ2-C11.5 3 番目の例	塩化 <i>N</i> -メチルアニリニウム(PIN)	<i>N</i> -メチルアニリニウム= <del>クロ</del> リド(PIN) <sup>†4</sup>

p.118, III2-C11.5 4 番目の例	臭化 <i>N</i> -フェニルエタンイミニウム (PIN)	<i>N</i> -フェニルエタンイミニウム=プロミド (PIN) <sup>†4</sup>
p.121, 1 行目	カルボキサミド	カルボキシアミド <sup>†3</sup>
p.121, 2 行目	カルボキサミジル	カルボキシアミジル <sup>†3</sup>
p.123, 表III2-3, 左段 2 行目	カルボキサミド	カルボキシアミド <sup>†3</sup>
同表, 左段 4 行目	カルボキシミド	カルボキシイミド <sup>†3</sup>
同表, 右段 2 行目	カルボキサミジウム	カルボキシアミジウム <sup>†3</sup>
同表, 右段 4 行目	カルボキシミジウム	カルボキシイミジウム <sup>†3</sup>

†1 PIN では、母音で始まるア接頭語の前に他のア接頭語が重なるとき、英名で脱落する間の a を補って字訳する。

†2 PIN では、英名が 3 語以上からなる塩、酸無水物、エステル語間に = を入れる。

†3 PIN (GIN でも) では、carboxamide, carboximide, sulfoxamide はそれぞれカルボキシアミド、カルボキシイミド、スルホキシアミドとする。

†4 PIN では、英名が 2 語以上からなる酸ハロゲン化物、オニウム塩、オキシドの語間に = を入れる。

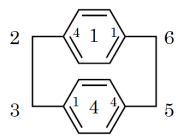
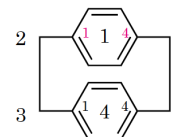
## 正 誤 表

113,115,117,118 番の元素の名称・元素記号・日本語名が決定しましたので、下記のように修正します。

変更箇所	変更後																				
p.8, 表II-1 名称追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>原子番号</th> <th>元素記号</th> <th colspan="2">元素名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>113</td> <td>Nh</td> <td>nihonium</td> <td>ニホニウム</td> </tr> <tr> <td>115</td> <td>Mc</td> <td>moscovium</td> <td>モスコビウム</td> </tr> <tr> <td>117</td> <td>Ts</td> <td>tennessine</td> <td>テネシン</td> </tr> <tr> <td>118</td> <td>Og</td> <td>oganesson</td> <td>オガネソン</td> </tr> </tbody> </table>	原子番号	元素記号	元素名		113	Nh	nihonium	ニホニウム	115	Mc	moscovium	モスコビウム	117	Ts	tennessine	テネシン	118	Og	oganesson	オガネソン
原子番号	元素記号	元素名																			
113	Nh	nihonium	ニホニウム																		
115	Mc	moscovium	モスコビウム																		
117	Ts	tennessine	テネシン																		
118	Og	oganesson	オガネソン																		
p.9, 表II-2 名称変更	113 Uut → 113 Nh 115 Uup → 115 Mc 117 Uus → 117 Ts																				

	118 Uuo → 118 Og
p.10, 表Ⅱ-3 名称削除	113～118 まで削除

そのほか 1 刷に対する正誤表 (2017.7.21 現在)

変更箇所	誤	正
p.95, Ⅲ2-A2.5, (2)1 行目	この例では六員環なので、基本名称を <b>cyclohexaphane</b> シクロヘキサファンとする。	この例では単環で構成要素が 6 個なので、 <b>cyclo</b> シクロ、相当する倍数接頭語 <b>hexa</b> ヘキサおよび <b>phane</b> ファンを合わせて <b>cyclohexaphane</b> シクロヘキサファンとする。
p.95, Ⅲ2-A2.5, (6)例		
p.96, (8)4 行目	構成成分 <b>node</b>	構成要素
p.105, Ⅲ2-C6.2, 2 行目	アルコールより下位	ケトンより下位
p.171	chromane 101 chromene 54,101	chromane <b>100</b> chromene <b>54,100</b>
p.182	クロマン 54,101,143 クロメン 54,101	クロマン <b>54,100,143</b> クロメン <b>54,100</b>
p.184	つなぎ符号 63,71	つなぎ符号 <b>3,63,71</b>
p.185	PIN 43,92	PIN <b>92</b>